

# 第4学年 外国語活動学習指導案

令和6年11月20日(水)第5校時

練馬区立大泉北小学校

第4学年3組 31名

〈研究主題〉めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成～キャリア教育を通して～

〈4年の目標〉



すすんでよいところを見つけよう



自分の考えをもとう



相手の考えを聴こう

1 単元名 お気に入りの場所をしょうかいしよう

2 単元目標

- ・世界と日本の生活や文化の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教室名の言い方や観光名所等の言い方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分が気に入っている場所やその理由について伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①校内の場所や教室の言い方、観光名所等を表す言い方に慣れ親しんでいる。 ②お気に入りの場所を伝えるための表現の仕方に慣れ親しんでいる。 ③海外の子供たちと交流することで、言語や文化について体験的に理解を深めている。	①お気に入りの場所やその理由を話したり聞いたりして、自分の考えを伝え合っている。	①相手に配慮しながら、自分のお気に入りの場所やその理由を伝え合おうとしている。

キャリア教育の目標



自分たちが住んでいる地域を大切に思う気持ちを持ち、目の前の相手に配慮しながら自分の考えを伝えたり友達の考えを聴いたりする。

海外にいる相手を気遣って、紹介する内容を考えたり表現を工夫したりする。

4 単元設定の理由

## (1) 教材観

### 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	(イ) ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やりとり)	(ウ) サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。
話すこと (発表)	(ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

本単元では、“My favorite place is～”の表現を用いてお気に入りの場所について相手に伝わるように理由とともに伝えることをねらいとしている。“You can ～”、“It’s ～”の表現を使って、自分が気に入っている場所の魅力を伝える。“You can ～”は今後も継続して触れていく表現である。ペア・ワークやグループ・ワークなどの学習形態を取り入れて、相手意識や目的意識をもたせることで、児童が伝えたい内容を話したり友達の話す内容を聞き取ったりすることができるようにする。また、児童にとって身近な校内や都内の場所を扱うことによって、児童が興味・関心を示すことができると考える。

#### ○言語材料

This is my favorite place. I like～. My favorite place is ～. You can [see, try, enjoy, eat, go, visit, drink, buy]～. It’s [beautiful, nice, cute, exciting, delicious].

shrine, park, supermarket, beach, temple, aquarium, mountain, river, zoo

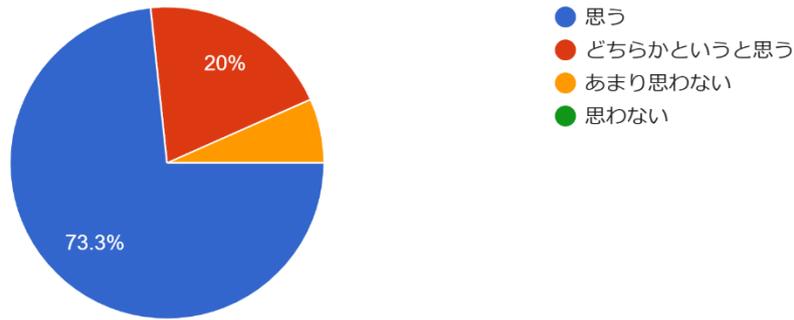
classroom, [school nurse’s/teacher’s/school principal’s] office, [music/science/arts and crafts/cooking] room, library, gym, play ground

## (2) 児童の実態

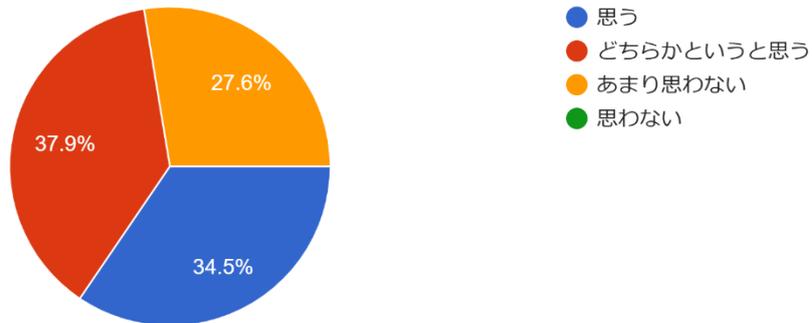
本学級の児童は、3年生のときから英語の講師とALTによる指導のもと外国語活動の授業を行ってきた。外国語活動の学習に積極的に取り組み、特にチャンツや歌を歌う活動、ゲームなどでは夢中になって楽しむ様子が見られる。5月には、イングリッシュキャラバンで外国人講師と英語を使ったゲームを通してコミュニケーションをとる経験をしている。その際は、ためらうことなく自然と外国人講師と接する姿が見られた。英語に触れた後は、“Thank you”などの簡単な挨拶を生活の中で自然に使う場面も見られる。一方、英語を話すことに恥ずかしさがありなかなか発表や友達同士でのコミュニケーションをうまくとることができない児童がいることや、英語を習っている児童(3割)と習っていない児童(7割)の意欲や英語の能力に差があることが課題である。相手意識をもたせ、自分の気持ちや考えを、自信をもって伝え合えるようにしたい。

また、10月下旬にとったアンケートの結果では、外国語活動の授業で学習していることが将来役に立つと思っている児童が学級の約93%だった一方、目標が分かって英語の学習をしている児童が約72%であった。さらに、単元の終わりに学んだことを使って、友達や先生と英語で話したり、自分のことを発表したりしていると答えた児童は45%と低く、学習したことを活用できていないと児童が感じていることが分かった。何のために学習をしているのか児童が明確に目標をもち、学習したことが活用できたという喜びを味あわせたい。

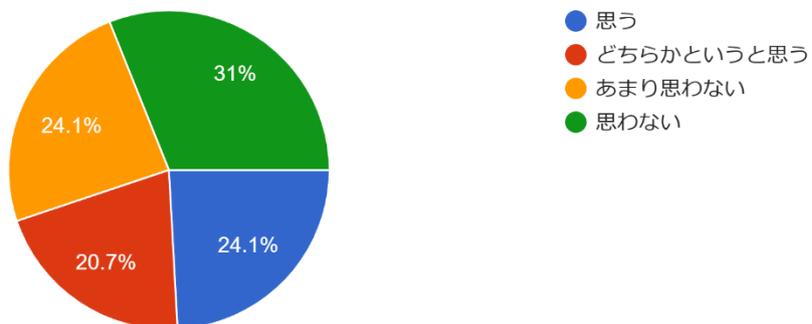
外国語活動の授業で学習していることは将来役に立つと思いますか。



自分が英語を使って、何ができれば良いのか、目標が分かって英語の学習をしていると思いますか。



単元の終わりに、授業で学んだことを使って、友達や先生と英語で話したり、自分のことを発表したりしていると思いますか。



### (3) 指導観 (教師の願いと指導の工夫)

社会科の学習では、4年生の1学期に東京都の様子や特徴について学習し、東京都の観光マップを作成している。また、2学期の「外国とのつながり」という単元では、大田区や練馬区ではどのような国際交流が行われているか調べた。そして単元の終わりに自分達にできることについて考えた際に「海外の子供たちに東京都の魅力を紹介したり、海外の魅力を教えてもらったりして違いを感じたい。」という意見が出た。

本単元では、社会科の学習で学んだことを題材とし、Zoom で繋いだ海外の子供たちに東京都の観光名所をお気に入りの場所として英語で紹介をする。児童が何のために学習するのか目標を明確にもち、誰に何を伝えるのか、目的意識や相手意識をもって外国語のコミュニケーションを取ろうとする姿を期待している。また、相手の状況を確認しながら話したり、相手の発言に反応しながら聴いたり、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を育てたい。

## 5 キャリア教育の目標に迫るための手立て



すすんでよいところを見つけよう **見つける力**

・お気に入りの場所について伝える活動

“My favorite place is the music room. You can sing songs. It’s exciting.”などと自分の考えや気持ちを話す活動を通して、自己理解・他者理解を深め、コミュニケーションの楽しさを実感できるようにする。



自分の考えをもとう **考える力**

### ゴールの設定

CLIL (Content Language Integrated Learning) の要素を取り入れ、社会科の学習や総合的な学習の時間と関連させ、教科横断的に学習を進める。単元の始めに「海外の友達に東京都のおすすめの場所を紹介しよう。」というゴールを設定する。海外の子供たちに紹介するためには、場所を表す英単語と、お気に入りの場所やその理由を伝えるための英語の表現を身に付ける必要がある。単元を通して、児童が何のために学習をしているのか目的意識をもって学習に取り組めるようにする。

### 海外の子供たちとの交流

海外の子供たちにお気に入りの場所を紹介するという相手意識をもたせ、相手がどのようなことを知りたいと思っているか相手のことを考えて紹介する内容を考えられるようにする。異なる文化をもつ子供たちとの交流を通して、体験的に言語の違いや生活や習慣、考え方の違いなど、文化等の理解を促し、他者理解を深められるようにするとともに、日本の文化にも関心を高められるようにする。

### マインドマップの活用

マインドマップを使い、東京都のお気に入りの場所について理由と共に書き込ませることで考えを整理し、班で意見を共有できるようにする。

### オクリンクプラスの活用

オクリンクプラスを利用して考えた表現を残すことで、自分の考えを整理したり班で考えたことを共有したりする。4年生の児童にとって文章を文字として書くことは難しいことと書く時間よりも話す時間を大切にしたいと考えた。そこで、事前に予想される単語をカードとして配布する。また、カードに添付された音声ファイルをクリックし、その単語の発音を聴くことができるようにすることで、児童が分からない単語を発音する手助けとなるようにする。配布されたカードにない単語は自分で日本語、もしくは英語で追加して作るようにする。また、分からない単語はALT や担任に聞くようにする。

### 班編成

事前に行った社会科の学習で、東京都の紹介したい場所を考えた。1学期に作成した東京都の観光マップを参考にしながら、マインドマップを個人で作成し、改めてその中から紹介したい場所を選び希望をとった。同じ地域同士で集まった2～4名で班を編成することで、地域の魅力や特徴を共有し合い共通の話題で盛り上がり考えを深めることができると期待する。



**相手の考えを聴こう** 聴く・伝える力

**伝え合う相手を意識させる**

単元の始めに、伝え合うときにどのような工夫ができるか意見を出し合い、伝え合いの都度確認し意識できるようにする。例えば、話し手は相手の反応を確かめながら、大きい声で話す、ゆっくり話す、もう一度話す、ジェスチャーや表情で伝える、などを意識し相手の理解を確かめながら話せるようにする。聞き手は相手の考えをうなずきながら聴く、聞き返すなどにより、相手の考えや気持ちを受け入れようとする態度を育てる。単元の終わりには、海外の子供たちという普段とは違う相手との交流を設定することで、常に相手を意識したコミュニケーションがとれるようにする。

**○キャリア教育の目標に迫るための事前指導**

教科(時数)	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿(評価方法)
社会科(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○練馬区の国際交流の取組について調べ、外国人と共に生活していくための関わり方を考える。</li> <li>・練馬区の国際交流の取組を調べる。</li> <li>・外国人と共に生活していくための自分達にできることを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人がどのようなことに困っているかを考えさせたり、練馬区の取組について調べさせたりすることから自分達にできることを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬区の国際交流の取組などから、自分達はどのような関わり方をしていけばよいか考えている。(ノート・発言)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海外の子供たちに紹介するお気に入りの場所を決める。</li> <li>・日本と海外との違いを調べる。</li> <li>・班で話し合い紹介する場所や理由を考える。</li> <li>・紹介する方法を話し合う。(ビデオ、画用紙に絵を描く、写真など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の子供たちがどのようなことを知りたがっているか相手の立場に立って考えられるように声をかける。</li> <li>・お気に入りの場所と理由をマインドマップにまとめさせ、決まった場所は赤でかこませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の子供たちのことを考えながら、自分のお気に入りの場所について班で話し合うことができている。(観察)</li> </ul>

**6 単元の指導計画**

時	目標 ●キャリア教育の視点	○学習活動	評価規準(評価方法) ●キャリア教育の視点
1	<p>お気に入りのものを表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>●単元のゴールを意識し、そのために何が必要なか学習計画を立てる。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりする。</p>	<p>○歌を歌う。</p> <p>○動画を見て単元の内容を捉える。</p> <p>○めあての確認をする。</p> <p>○“My favorite ○○ is ~”の表現を知る。</p> <p>○“My favorite ○○ is ~”の表現を練習する。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>【知・技能-②】</p> <p>●単元のゴールを意識し、見通しをもって学習に取り組んでいる。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりしている。</p>
2	<p>学校の教室名や、場所の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりする。</p>	<p>○歌を歌う。</p> <p>○small talk</p> <p>○めあての確認をする。</p> <p>○学校の教室名や場所の言い方を知る。</p> <p>○学校の教室名や場所の言い方を練習する。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>【知・技能-②】</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりしている。</p>
3	<p>お気に入りの場所と、そこでできることや理由を伝え合う。</p> <p>●自分の考えや気持ちを伝え合う。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりする。</p>	<p>○歌を歌う。</p> <p>○small talk</p> <p>○めあての確認をする。</p> <p>○“You can ~.”、“It’s~.”の表現を知る。</p> <p>○“You can ~.”、“It’s~.”の表現を練習する。</p> <p>○“My favorite ○○ is~. You can ~. It’s~.”を使って話したり聞いたりする。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>【思考・判断・表現-①】</p> <p>●自分の考えや気持ちを伝え合う活動を通して、自己理解・他者理解を深めている。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりしている。</p>

4 (本時)	<p>海外の子供たちに自分たちのお気に入りの場所とその理由を紹介するための表現を考える。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりする。</p> <p>●海外にいる相手を気遣って、何を紹介すればよいか考えたり、どのような表現すればよいか表現方法を考えたりする。</p>	<p>○歌を歌う。</p> <p>○Small talk</p> <p>○めあての確認をする。</p> <p>○“My favorite OO is～. You can ～. It’s～.”の表現の練習をする。</p> <p>○班で海外の子供たちに紹介するための表現を考える。</p> <p>○班同士で発表し合う。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>【思考・判断・表現－①】</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりしている。</p> <p>●海外にいる相手を気遣って、紹介する内容を考えたり表現を工夫したりしている。</p>
5	<p>海外の子供たちにお気に入りの場所について紹介するための練習をする。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりする。</p> <p>●海外にいる相手を気遣って、どのように表現すれば伝わるか考えながら紹介練習をする。</p>	<p>○歌を歌う。</p> <p>○Small talk</p> <p>○めあての確認をする。</p> <p>○“My favorite OO is～. You can ～. It’s～.”の表現の練習をする。</p> <p>○前時に班で決めた海外の子供たちにお気に入りの場所について紹介する練習をする。</p> <p>○班同士で発表し合う。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度－①】</p> <p>●目の前にいる相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりしている。</p> <p>●海外にいる相手を気遣って、伝え方を工夫している。</p>
6	<p>海外の子供たちにお気に入りの場所について紹介するための準備をする。</p> <p>●海外にいる相手を気遣って、どのように表現すれば伝わるか考えながら紹介の練習をする。</p>	<p>○歌を歌う。</p> <p>○Small talk</p> <p>○めあての確認をする。</p> <p>○班で紹介に必要なものを話し合って考え、準備をする。</p> <p>○学級で発表する。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度－①】</p> <p>●海外にいる相手を気遣って、紹介する方法を考えたり伝え方を工夫したりしている。</p>
7	<p>Zoomで繋いだ海外の子供たちにお気に入りの場所について紹介する。</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりする。</p>	<p>○挨拶や簡単な学校の紹介をし合う。</p> <p>○班ごとにお気に入りの場所を紹介し合う。</p> <p>○質問を聞く。</p> <p>○質問をする。</p> <p>○挨拶</p> <p>○振り返り</p>	<p>【思考・判断・表現－③】</p> <p>●目の前の相手に配慮して自分の思いを伝えたり相手の思いを聴いたりしている。</p>

8	交流したお礼の気持ちを New year's card として送る。 ●海外にいる相手を気遣って、お礼の気持ちをカードに表す。	○めあてを確認する。 ○交流について振り返る。 ○カードを書く。 ○振り返り	【思考・判断・表現ー③】 ●海外にいる相手を気遣って、お礼の気持ちをカードに表している。
---	--	---	---

7 本時について(4/8)

(1) ①本時のねらい

海外の子供たちに自分たちのお気に入りの場所とその理由を紹介するための表現を考える。

②キャリア教育の目標



自分達が住んでいる地域を大切に思う気持ちを持ち、目の前の相手に配慮しながら自分の考えを伝えたり友達の考えを聴いたりする。



海外にいる相手を気遣って、紹介する内容を考えたり表現を工夫したりする。

(2) 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価基準 ★キャリア教育の目標に迫るための手だて
導入	1 歌を歌う。 ○Let's sing a song! 2 small talk ○What did you catch? 3 めあてを確認する  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             Let's get ready to introduce our <b>favorite places</b> to our friends in Korea.              かん国の友達に自分たちのお気に入りの場所をしようかいするじゅんびをしよう。           </div>	・歌を歌うことで、緊張をほぐす。 ・ゆっくりはっきりと話す。 ・「聞いて分かった。」という喜びや満足感をもたせる。  ・めあてをしっかりと提示することで、何のために学習しているのか、児童が1時間の授業に対し目標を明確にもって学習に取り組めるようにする。
展開	4 “My favorite ○○ is～. You can ～. It's～.”の表現の練習をする。 ○Let's play a sign game! Today's theme is about restaurant. What is your favorite restaurant?	・ALTと表現の練習をする。 ・日本語で書いてもよいことを伝える。 ★相手に配慮しながら自分の好みや考えなどを伝え合うことができるように、伝え合いのポイントを確認する。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんと同じお店だった。</li> <li>・たくさんサインをもらえた。</li> <li>・うなずきながら聴けた。</li> </ul> <p>5 班で海外の子供たちに紹介するためのお気に入りの場所とその理由の表現を考える。</p> <p>○ Think about your friends in Korea. Then, discuss your favorite places in Tokyo in the group.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外ではお寺はめずらしいかな？</li> <li>・浅草では何ができるのだろう？日本だけでしか買えない物はあるかな？</li> <li>・Our favorite place is Okutama. It's...何にしようか？たしか季節は日本の特徴だよ。紅葉とか？</li> </ul> <p>6 決まった内容を班同士で発表し合い、よかったポイントを伝え合う。</p> <p>○ Let's make a presentation to the other group.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくり話していて聞きやすかったよ。</li> <li>・声の大きさがちょうどよかったよ。</li> <li>・2回話してくれてありがとう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との伝え合いが苦手な児童でも交流することができるように、初めに隣の席の友達と伝え合ってから他の友達と交流するようにする。</li> <li>★海外の子供たちを意識させ、どのようなことを知りたがるのか考えられるようにする。</li> <li>★マインドマップに考えを付け加えていくことで、班で考えを整理したり膨らませたりできるようにする。</li> <li>★オクリンクプラスでカードを繋げて文章を作り、考えを整理できるようにする。</li> <li>★再度伝え合いのポイントを確認する。</li> <li>・話し合いに集中できるようにタブレットは班に1台使用する。</li> <li>・社会科の学習で事前に調べておいた資料やマインドマップを見られるようにしておく。</li> <li>・分からない表現やできた文章が合っているかの確認は ALT の先生に聞くように声をかける。</li> <li>◇海外の子供たちに自分たちのお気に入りの場所とその理由を紹介するための表現を考えている。(観察、オクリンクプラス)</li> </ul>
まとめ	<p>7 振り返りをする。</p> <p>○ Let's write a reflection on today's lesson!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何個かはお勧めの場所の表現が決まったけれど、まだ足りないな。</li> <li>・うなずきながら友達の考えを聞いた。</li> <li>・分かりやすいようにゆっくりしゃべるようにしたよ。</li> <li>・前回より上手く言えるようになったかな。</li> <li>・班の友達とたくさん話し合えた。</li> <li>・韓国の子との交流が楽しみだな。いっぱい話したいな。</li> <li>・ゲームでたくさんの友達と英語で質問し合えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを想起させ、学習を振り返らせる。</li> <li>・振り返りカードを書き、自分ができたことに気付かせたり、次時への見通しをもたせたりする。</li> </ul>

## 8 成果と課題

### <成果>

- ・教科横断的に行い明確なゴールをもたせて学習を進めたことで、児童は目的意識をもって学習に取り組むことができた。
- ・日常生活でも簡単な英語を使うなど、単元を通して、外国語に対する児童の意識が高まった。
- ・交流会を通して、他者とつながることのよさに児童が気付くことができた。

### <課題>

- ・グループでの話し合いをより深めるために、児童が交流相手のことを考え日本独自のものを考えられるような手だてが必要だった。
- ・個で考える時間を確保することで、よりグループでの活動が活発にすることができたと思う。
- ・学年の課題であった自己肯定感を高めるためには、単元構成を工夫する必要があった。